

# 2019年度「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業 地域日本語教育スタートアッププログラム 報告書

団体名 中能登町教育委員会 (都道府県: 石川県)

## 1. 当該地域の情報 (2020年2月現在)

地域の課題	①日本語が十分話せない在住外国人と外国語を話せない地域住民との交流が少なく、在住外国人は孤立しがちである。 ②地域住民は、在住外国人との関係づくりに戸惑っている。 ③日本語による会話が不十分なことで、集落や隣近所のコミュニティがうまくいかない場合がある。
在住外国人数 外国人比率	207人 1.16%
在留外国人の 状況	【主な国籍と人数】中国97人 ベトナム73人 ミャンマー16人 韓国9人 朝鮮4人 フィリピン3人 スリランカ・イタリア・タイ・米国・ブラジル各1人 【在留資格】技能実習2号口95人 技能実習1号口53人 永住者37人 特別永住者10人 日本人の配偶者・技能各3人 定住者・家族滞在各2人 教育・経営管理各1人 【滞在年数・在留期間などの状況】 技能実習生が多く全体の70%を占める。残りの30%のうち、永住者が多く占めている。技能実習生の数も増えつつあり、また 国別で見てもベトナムとミャンマーが増加傾向にある。
在住外国人の 日本語教育の現状	平成28年度までは、町内に日本語教室がないため、隣市である七尾市国際交流協会の協力を得て、臨時的な対応として七尾市国際交流協会へ学習希望の連絡があった中能登町在住外国人のために教室を提供していた。週2回(火・19:00～21:00、金・16:00～18:00)の日本語教室を当町生涯学習施設ラピア鹿島にて実施していた。平成28年度、1名の学習者がいたが都合により転出され、日本語教室は終了した。

## 2. 事業の内容

本プログラム取組年数	3年目
事業の目的	中能登町に生活する外国人住民が、生活に役立つ日常的な日本語を対話等を通じて学び、日本語を話す場所や機会としてコミュニケーションの場としての日本語教室開設を目指す。また、3年間に渡り調査や研究、検討、プレ教室やイベントの開催等を通して、外国人住民と地域住民、外国人を雇用する企業の暮らしのコミュニケーションに役立つ教室を目指す。具体的には、外国人住民を対象に、外国人住民が必要とし求めている内容に発展させるために年間を通してプレ教室を開催し評価する。また、日本語教室開講時にサポーターとして役割が担えるようにプレ教室の中で実践トレーニングとしてミニ講座を実施する。また、地域住民にとって外国人住民が身近な存在として互いに思いやる関係づくりとプラットフォームの役割を果たす。更には、外国人住民が中能登町の住民の一人として個々の能力を発揮し役割を担い、地域住民と共生しながら豊かに楽しく暮らせる町を目指す。
事業の概要	令和2年度の開設に向けた最終段階として、持続可能な運営のための仕組みと仕掛け、教室のプログラムの定型化などを視野に入れ、教室のウォーミングアップを主体に次の事業を実施した。 ①キックオフミーティング会議を開催し、町長を始め町執行部及びアドバイザーの出席を求め、前年までの実績と本年度事業の概要を説明し理解を求めた。また、事業実施に当たっての行政との連携を密にするとともに協力関係を深めた。 ②コーディネーターを中心にコアメンバーと年間事業計画を立てた。 ③年間の教室の日程、テーマを設定し、外国人住民や技能実習生、技能実習生を雇用する企業へ案内し参加を促した。 ④コアメンバーによる会議を毎月例会として開催し、プログラムづくりや役割分担を行った。 ⑤交流型のプレ教室を10回、体験型のイベントを1回開催し、外国人住民が参加しやすい環境づくりや、外国人住民のネットワークをつくった。 ⑥受講前と受講後の学習状況を数値化し、学習効果へ繋げた。 ⑦受講生には毎回受講したいテーマのニーズを聴取した。 ⑧教室のプログラムやカリキュラム、教室でのサポートを充実させるため、コアメンバーのスキルアップ研修及び養成講座を実施した。 ⑨持続できる教室運営のためのシステム、仕組みを確立させた。 ⑩毎月発行の町広報の中の「多文化共生・国際交流のひろば」コーナーで、外国人住民や地域住民に対して、教室の案内や多文化共生の考え方、共生の在り方等について掲載し町民への理解を深めた。 ⑪町祭や町のイベントに多文化共生ブースを設置し、日本語教室の活動紹介や多文化共生を啓蒙した。 ⑫町祭での多言語アナウンス(英語・中国語・ベトナム語)を昨年度に引き続き行った。 ⑬文化庁空白地域解消推進協議会の参加及び先進地視察を実施し、事業の進め方やスタート後の方向性を検討した。 ⑭コアミーティング及びプレ教室に、アドバイザーに参加してもらい具体的で適切なアドバイスを得た。
事業の対象期間	2019年4月～2020年3月

<p>前年度の実績 (2年目以降の 団体のみ記載)</p>	<p>1年目の外国人住民及び技能実習生を雇用する企業のヒアリングを基にしながらプレ教室の開催、コアメンバーの研修、持続可能な運営方法などについてを主体に次の事業を実施した。</p> <p>①町長、教育長並びに町執行部、アドバイザーの出席でキックオフミーティング会議を開催し、前年度の事業実績、2年目事業計画を説明し懇談した。</p> <p>②技能実習生のヒアリング調査を実施し実態やニーズを明らかにした。</p> <p>③「なかのとまち日本語教室をつくろう会(NNT21名(外国人住民5名を含む))」で年間事業計画、プレ教室計画を立て、技能実習生を雇用する企業に参加協力要請した。</p> <p>④プレ教室を6回開催し、延62名の外国人住民が参加した。</p> <p>⑤教室の進行及びスタイルを定型化し、コアメンバーの役割分担を明確化した。</p> <p>⑥日本語教室の名称を「中能登にほんごひろば「茶の間」」にし、町生涯学習センター「ラピア鹿島」内に常設室を設置した。(80㎡・うち和室約18畳)ホワイトボード、町のパンフレットやハザードマップ、リサイクル本(一般文献)、世界地図、メンバー用参考文献(日本語教育用)、子供用のおもちゃ(色紙・ビー玉・めんこ等)も町とメンバーの協力により準備できた。</p> <p>⑦コアミーティングを毎月第4木曜日にし、事業全体やプレ教室の内容を企画・検討した。また、コアメンバーのスキルアップ研修も併せて実施した。</p> <p>⑧文化庁地域日本語教育コーディネーター研修の参加及び先進地視察を実施し、事業の進め方やスタート後の方向性を検討した。</p> <p>⑨コアミーティング及びプレ教室に、アドバイザーに参加してもらい具体的で適切なアドバイスを得た。</p> <p>⑩毎月発行の町広報の中の「多文化共生・国際交流のひろば」コーナーで、イベントの周知や町内の外国人状況等を掲載し、町民の知識や意識を高める事を狙いとした。また、町祭での多言語アナウンス(英語・中国語・ベトナム語)と多文化共生ブース、町小学校ALTIによる、中能登町の伝統織物である能登上布織物の浴衣を着てのファッションショーへの参加等、初めての試みを行った。</p> <p>⑪日本語教室の持続可能な運営を図るため、中能登町国際交流の会の組織の中で実施できるよう協議し、次年度から実施できる運びになった。これにより、NNT(中能登町日本語教室をつくろう会)は発展解消することになった。</p>			
<p>担当コーディネーター</p>	<p>氏名</p>	<p>所属</p>	<p>職名</p>	<p>担当する役割</p>
	<p>大湯 章吉</p>	<p>中能登町国際交流の会</p>	<p>相談役</p>	<p>システムコーディネーター</p>
	<p>宮本 文栄</p>	<p>中能登町国際交流の会</p>	<p>副会長</p>	<p>システムコーディネーター</p>
	<p>北原 千香子</p>	<p>中能登町国際交流の会</p>	<p>事務局員</p>	<p>教室コーディネーター</p>
	<p>福永 理夏</p>	<p>中能登町教育委員会</p>	<p>主事</p>	<p>システムコーディネーター(町担当者)</p>
<p>担当アドバイザー</p>	<p>氏名</p>	<p>所属</p>	<p>職名</p>	<p>継続・新規の別</p>
	<p>石井 恵理子</p>	<p>東京女子大学</p>	<p>教授</p>	<p>継続(3年目)</p>
	<p>今井 武</p>	<p>石川県国際交流協会</p>	<p>日本語専任講師</p>	<p>継続(3年目)</p>
	<p>各務 真弓</p>	<p>可児市国際交協会</p>	<p>事務局長</p>	<p>継続(3年目)</p>

### 3. 日本語教室の設置に向けた検討体制

#### (1) 地域における日本語教育の実施に向けた検討体制

検討体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人に関する事項(国際交流、多文化共生)についての諸問題に対する中心的な役割は生涯学習課が行った。</li> <li>企業の担当者へのヒアリングを行い技能実習生との連携を深めた。</li> <li>防災訓練の実施時は、総務課と住民福祉課に協力依頼を行った。</li> <li>中能登町国際交流の会多文化共生部会が、日本語教室の中心的な役割を担い、持続可能な日本語教室運営ができる組織に発展するよう育成を図った。</li> </ul>	<p>外国人、日本人、おとな、子ども、だれでもウェルカム!</p> <p>進行係・板書係・記録係 学習者・サポーター</p> <p>日本語教室「茶の間」</p> <p>コーディネーター「つなぐ」役割</p> <p>中能登町 石川県 文化庁 アドバイザー 国際交流協会 後の日本語教室 など...</p> <p>行政等の 関係機関</p> <p>職場や地区の コミュニティ</p> <p>外国人コミュニティー 地域コミュニティ 職場 地区 家族 など...</p> <p>教室を作る お手伝い</p> <p>学習者・サポーターとの 大きな関わり</p>
所属 (担当課)	担当者名	職名
生涯学習課	甘田 悟司	課長
総務課	高名 雅弘	参事兼課長
企画課	上坂 恵一	課長
住民福祉課	平岡 重信	参事兼課長
中能登町商工会	合田 保徳	局長

#### (2) 日本語教室の実施に向けた事業運営体制図

地域の機関・団体との連携体制	<p>中能登町における日本語教育プログラムの策定やニーズ調査の実施、交流行事などについては、以下のような日本語教室を多文化共生の拠点とした、関係機関と連携・協力を行い、実施していった。中能登町ならではの行事や、文化交流(伝統料理や祭りなど)には、地区・自治会や各種団体等、地域コミュニティに協力を仰いで、イベントへの参加を通じて日本語教室への関わりをもってもらえるように進めていった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○日本語教室の情報共有: 県内市町日本語教育担当課</li> <li>○日本語教育人材の育成: 公益財団法人石川県国際交流協会・公益財団法人千葉市国際交流協会・名古屋大学大学院・文化庁・NPO法人 国際活動市民中心(CINGA)</li> <li>○住民間の文化交流イベントや多文化共生の催し: 中能登町国際交流の会</li> <li>○防災訓練: 消防, 地区・自治会, 企業など</li> <li>○安全講習: 七尾自動車学校</li> <li>○他地域の日本語教室実施モデルの紹介: 石川県国際交流協会 小松市国際交流協会</li> </ul>	<p>伝統祭り 災害 地域連携のイメージ</p> <p>教育 福祉 産業</p> <p>暮らし 関係機関との情報の交換</p> <p>日本語教室(プラットフォーム)</p> <p>集落 社協 商工会 行政 企業</p>	
組織・団体・機関名	担当部局	職名	担当者名
中能登町国際交流の会	生涯学習課	主事	福永 理夏
石川県国際交流協会	生涯学習課	主事	福永 理夏

#### 4. 具体的な取組内容

##### (1) 年間を通じた取組内容

年月	主な取組内容	コーディネーターの主な活動	アドバイザーの来訪
2019年 4月	事業計画の策定 ・中能登町広報誌内コーナー「多文化共生・国際交流のひろば」への掲載 ・コアミーティング例会 毎月1回第4木曜日2時間程度(プレ教室企画立案・ミニ講座等) ・にほんご教室「交通マナー」	・事業計画の策定及び3年目キックオフミーティングの企画運営 ・コアミーティング例会、プレ教室の企画及び運営 ・中能登町広報誌原稿作成	
2019年 5月	・3年目キックオフミーティング ・中能登町広報誌内コーナー「多文化共生・国際交流のひろば」への掲載 ・コアミーティング例会 毎月1回第4木曜日2時間程度(プレ教室企画立案・ミニ講座等) ・にほんご教室「知って役立つ食べ物と飲み物の知識」 ・キックオフミーティング ・コアミーティング例会にてアドバイザーとの意見交換会	・コアミーティング例会の企画運営、サポーター研修 ・にほんご教室の企画 ・中能登町広報誌原稿作成	★キックオフミーティング 事業計画について コアミーティングにて指導
2019年 6月	・中能登町広報誌内コーナー「多文化共生・国際交流のひろば」への掲載 ・コアミーティング例会 毎月1回第4木曜日2時間程度(プレ教室企画立案・ミニ講座等) ・空白地域解消推進協議会(文化庁) ・にほんご教室「知って役立つ防災知識」	・コアミーティング例会の企画運営、サポーター研修 ・にほんご教室の企画 ・中能登町広報誌原稿作成 ・空白地域解消推進協議会(文化庁)	★コアミーティングにて指導 教室見学及びアドバイス
2019年 7月	・中能登町広報誌内コーナー「多文化共生・国際交流のひろば」への掲載 ・コアミーティング例会:毎月1回第4木曜日2時間程度(プレ教室企画立案・ミニ講座等) ・多読研修会 ・プレ教室「買い物、行きたいところ」 ・町祭で多文化共生ブースを設置 ・町祭で多言語アナウンスを実施	・コアミーティング例会の企画運営、サポーター研修 ・にほんご教室の企画及び運営 ・中能登町広報誌原稿作成	★コアミーティングにて指導 教室見学及びアドバイス
2019年 8月	・中能登町広報誌内コーナー「多文化共生・国際交流のひろば」への掲載 ・コアミーティング例会 毎月1回第4木曜日2時間程度(プレ教室企画立案・ミニ講座等)	・コアミーティング例会の企画運営及びサポーター研修 ・にほんご教室の企画 ・中能登町広報誌原稿作成 ・コーディネーターフォローアップ研修	
2019年 9月	・中能登町広報誌内コーナー「多文化共生・国際交流のひろば」への掲載 ・コアミーティング例会 毎月1回第4木曜日2時間程度(プレ教室企画立案・ミニ講座等) ・にほんご教室「台風の準備」 ・特別講座「防災WS」 可児市国際交流協会との共催	・コアミーティング例会の企画運営及びサポーター研修 ・にほんご教室の企画及び運営 ・中能登町広報誌原稿作成	
2019年 10月	・中能登町広報誌内コーナー「多文化共生・国際交流のひろば」への掲載 ・コアミーティング例会 毎月1回第4木曜日2時間程度(プレ教室企画立案・ミニ講座等) ・コアミーティング例会にてアドバイザーとの意見交換会 ・にほんご教室「日本の本を読んでみよう」 ・事業の中間まとめ(振り返り)	・コアミーティング例会の企画運営及びサポーター研修 ・にほんご教室の企画 ・事業中間まとめの企画運営 ・中能登町広報誌原稿作成	★中間報告会 事業内容振り返り及び打合せ
2019年 11月	・中能登町広報誌内コーナー「多文化共生・国際交流のひろば」への掲載 ・コアミーティング例会 毎月1回第4木曜日2時間程度(プレ教室企画立案・ミニ講座等) ・にほんご教室「レストランへ行こう」 ・多文化共生事業	・コアミーティング例会の企画運営及びサポーター研修 ・にほんご教室の企画運営 ・中能登町広報誌原稿作成	
2019年 12月	・中能登町広報誌内コーナー「多文化共生・国際交流のひろば」への掲載 ・コアミーティング例会 毎月1回第4木曜日2時間程度(プレ教室企画立案・ミニ講座等) ・にほんご教室「わたしの1日、冬の雪や寒さへの備え」	・コアミーティング例会の企画運営及びサポーター研修 ・にほんご教室の企画 ・中能登町広報誌原稿作成	★教室見学及びアドバイス
2020年 1月	・中能登町広報誌内コーナー「多文化共生・国際交流のひろば」への掲載 ・コアミーティング例会 毎月1回第4木曜日2時間程度(プレ教室企画立案・ミニ講座等) ・多文化共生事業「料理づくり・お好み焼きを作ろう」	・コアミーティング例会の企画運営及びサポーター研修 ・多文化共生事業の企画 ・中能登町広報誌原稿作成	
2020年 2月	・中能登町広報誌内コーナー「多文化共生・国際交流のひろば」への掲載 ・コアミーティング例会 毎月1回第4木曜日2時間程度(プレ教室企画立案・ミニ講座等)→延期 ・にほんご教室「わたしの国のお祭り」 ・事業のまとめ(振り返り)、実績報告書の作成 ・事業最終報告会 ・石井シニアアドバイザーによる講演会	・コアミーティング例会の企画運営及びサポーター研修 ・にほんご教室の企画運営 ・中能登町広報誌原稿作成 ・事業のとりまとめ ・実績報告書の作成作業	★講演会 事業最終報告会 事業振り返り及び打合せ
2020年 3月	・中能登町広報誌内コーナー「多文化共生・国際交流のひろば」への掲載 ・コアミーティング例会 毎月1回第4木曜日2時間程度(プレ教室企画立案・ミニ講座等) →2月分と3月分開催 ・にほんご教室(中止)	・コアミーティング例会の企画運営及びサポーター研修 ・にほんご教室の企画 ・中能登町広報誌原稿作成	

(2) 立ち上げた日本語教室の詳細

教室の名称		中能登にほんごひろば 「茶の間」 ～しゃべらんかいね～					
外国人参加者について		[国籍]ベトナム48名、中国4名、 ミャンマー4名、アメリカ1名 [属性]技能実習生、日本人配偶者、英語指導助手			参加者数 (内 外国人数)		110名 (57名)
開催時間数		総時間 22 時間			内訳 2 時間 × 11 回		
目標		外国人住民が日本語を話す場所や機会をつくる。 外国人住民が生活に役立つ身近な日本語を会話やワーク、実践や活動を通じて学ぶ。 外国人住民が日本文化や地域の行事を通し、社会とのつながりを意識するきっかけをつくる。 日本人住民の多文化共生への理解及びサポーターとしての活躍、地域コミュニティと外国人住民をつなぐ役割を見出す。 お互いに顔の見える関係をつくること及び多文化共生の拠点を指す。					
実施内容							
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	内容	授業概要	支援者数
1	2019年4月7日(日) 10:00~12:00	2	ラピア鹿島	15	日本の 交通マナー	・アイスブレイク ・交通マナーについて勉強 講師:七尾自動車学校指導員(中国出身者兼コアメン バー) ・標識の見方、安全な自転車の乗り方等を学ぶ ・ワークシート ・交流タイム	地域住民1名 ボランティア2名 コアメンバー10名
2	2019年5月12日(日) 10:00~12:00	2	ラピア鹿島	18	知って役立つ 食べ物と飲み物の 知識	・アイスブレイク ・賞味期限、消費期限、薬の使用期限について、現物を見せながら学ぶ ・ワークシート ・交流タイム	ボランティア1名 コアメンバー8名
3	2019年6月2日(日) 10:00~12:00	2	ラピア鹿島	12	知って役立つ 防災知識	・防災士を講師に災害写真、防災グッズの現物を見せながら学ぶ ・ワークシート ・交流タイム	地域住民2名 コアメンバー9名
4	2019年7月7日(日) 10:00~12:00	2	ラピア鹿島	11	買い物 行きたいところ	・アイスブレイク ・グループワーク ・店舗のチラシを活用しながら、買いたい物がどこに売られているのかを学ぶ ・ワークシート ・交流タイム	地域住民4名 ボランティア1名 コアメンバー7名
5	2019年9月1日(日) 10:00~12:00	2	ラピア鹿島	2	台風の準備	・アイスブレイク ・日本での台風の被害を写真で確認 ・気象情報の見方を学ぶ ・グループワーク ・ワークシート ・交流タイム	地域住民1名 ボランティア2名 コアメンバー8名
6	2019年9月15日(日) 10:00~12:00	2	ラピア鹿島	22	特別講座 防災ワークショップ	・可児市国際交流協会との連携 ・ゲームをしながら防災を学ぶ ・グループワーク	ボランティア (可児市) 12名 地域住民1名 ボランティア3名 コアメンバー7名
7	2019年10月6日(日) 10:00~12:00	2	ラピア鹿島	12	日本の本を 読んでみよう	・アイスブレイク ・日本の本(多読)を選んでサポーターと読みながら学ぶ ・ペアワーク ・ワークシート ・交流タイム ・本の貸出しを開始	地域住民5名 ボランティア2名 コアメンバー7名
8	2019年11月10日(日) 10:00~12:00	2	ラピア鹿島	15	レストランへ行こう	・アイスブレイク ・グループワーク ・飲食店での予約、注文の仕方のロールプレイ ・発表体験 ・ワークシート ・交流タイム	地域住民2名 ボランティア3名 コアメンバー6名
9	2019年12月8日(日) 10:00~12:00	2	ラピア鹿島	9	私の1日 冬の雪や 寒さへの備え	・アイスブレイク ・グループワーク ・休日の過ごし方を発表 ・初めての冬体験のために必要なもの、注意点を理解 ・ワークシート ・交流タイム	オブザーバー2名 ボランティア1名 コアメンバー10名 アドバイザー1名

10	2020年1月19日（日） 10：00～12：00	2	ラピア鹿島	8	お好み焼き作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイスブレイク</li> <li>・日本語のレシピを読む</li> <li>・調理器具等の名前を覚える</li> <li>・母国語の読み方、母国の料理を話す</li> <li>・お好み焼きを食べながら交流</li> <li>・ワークシート</li> </ul>	地域住民5名 オブザーバー3名 ボランティア2名 コアメンバー11名
11	2020年2月1日（日） 10：30～12：00	1.5	ラピア鹿島	6	わたしの国の お祭り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節分の豆まき体験をアイスブレイク</li> <li>・グループワーク</li> <li>・母国の祭りを話す</li> <li>・他国の祭りを聞く</li> <li>・ワークシート</li> <li>・交流タイム</li> </ul>	オブザーバー3名 ボランティア6名 コアメンバー8名

【主な活動】



「知って役立つ食べ物と飲み物の知識」  
賞味期限や消費期限、薬の使用期限について、実際に様々な現物を手にとり、日付を指さしながら明記してある箇所の確認を行った。



「レストランへ行こう」  
好きな食べ物の絵を描き輪になり、アイスブレイクを行った。簡単な自己紹介と、何を描いて、どうして選んだかを発表した。



「お好み焼きを作ろう！」  
上手くひっくり返せるかな！？  
材料や道具を日本語で確認しながら進めた。また母国にも同じような料理があるか話をしながら、相互理解を深めた。

(3) その他関連する取組

取組名称	実施期間	内容
町防災訓練	2019年6月23日(日)	外国人住民の避難に必要な体制づくりを整備するため、訓練を行った。訓練終了後、検証を行い、町当局へ課題を提言した。
町祭「織姫夏ものがたり」	2019年7月27日(土)	多文化共生ブースを設置した。ブースでは、日本語教育事業や多文化共生の内容、日本語教室「茶の間」活動やスタッフ募集等を紹介。 また、簡単なクイズ(町内の外国人数や外国の挨拶など)に答えて、アメリカ・中国・ベトナムのお菓子をプレゼントする企画を昨年を引き続き行った。 町祭では、町企画課と連携をし、英語・中国語・ベトナム語の多言語アナウンス及び多言語テロップ表示を実施した。
日本語教室ボランティア養成講座	2019年12月～2020年2月(全5回)	日本語教室「茶の間」に関わる支援者を養成するために開催した。全5回で、地域日本語教室とは何かというところから、実際に参加するまでの流れをつくり、支援者の発掘を行った。サポーターは現在関わっている教室内容のブラッシュアップ及びスキルアップを、新規参加者は地域日本語教室活動による多文化共生推進をする事に理解を深めてもらいながら、外部講師に依頼し支援者としてのコミュニケーションスキルを学んだ。なお、本講座は町からの委託費を使い、中能登町国際交流の会主催、中能登町教育委員会共催で行った。 【内容】(全5回、1回3時間)のべ68名参加 第1回 日本語教室に参加する前に (講師:公益財団法人石川県国際交流協会 日本語専任講師 今井武氏) 第2回 日本語教室ってどんな場所? (講師:名古屋大学大学院 千葉 月香氏) 第3回 知識とスキルを学ぼう1 ～聴く・待つ やさしい日本語～ (講師:公益財団法人千葉市国際交流協会委嘱地域日本語教育コーディネーター 萬浪 絵理氏) 第4回 知識とスキルを学ぼう2 ～話をひきだす・周囲とつながる・話題を考える～ (講師:公益財団法人石川県国際交流協会 日本語専任講師 今井武氏) 第5回 実際の教室に参加してみよう! (講師:文化庁国語課 日本語教育専門職 北村 祐人氏)
日本語教室サポータースキルアップ講座	2020年2月2日(日)	日本に暮らす外国人とはどういった人を指し、また外国人から相談を受けるという視点から、外国人の困ったことを想定し、環境や立場等への理解を深めた。外国人を取り巻く様々な環境における日本語教室の機能や役割を認識した上で、交流型の地域日本語教室において必要なスキルとなる「やさしい日本語」についての知識を実践を通して深めた。 【内容】1回2時間 12名参加 日本に暮らす外国人の抱える課題と「やさしい日本語」 (講師:NPO法人 国際活動市民中心 CINGA コーディネーター 新居 みどり氏)

【主な活動】



【多文化共生ブース】  
町祭「織姫夏まつり」にて、日本語教育事業や多文化共生の内容、日本語教室「茶の間」活動やスタッフ募集を紹介した。



【多文化共生ブース(質問)】  
「外国人と日本人が中能登町で楽しく豊かに暮らすにはどうしたらいいでしょうか?」と来場者に意見を書いて貼ってもらい、多文化共生の啓発につなげた。



【日本語教室ボランティア養成講座】  
グループで「外国人住民になったつもりでシャンプーを買いに行ってみる」という内容を話し合った。「ことばの壁」を想定しながら、対処法も考えた。

5. 今年度事業全体について

進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度の本格稼働に向けて体制整備を行った。</li> <li>・日本語教室の開催を軌道に乗せた。</li> <li>・中能登にほんごひろば「茶の間」～しゃべらんかいね～のプレ教室として月1回教室開催をした。</li> <li>・中能登町と中能登町国際交流の会が目指す多文化共生の地域作りの方針を示した、なかのとまち多文化共生推進プランを策定した。また、リーフレットを作成し、日本語教室や窓口にて設置や配布を行っている。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>①本格稼働に向けたウォーミングアップとして、プレ教室10回及び多文化共生サロンを1回(3月開催予定の1回は中止)の、合計11回開催し、外国人住民110名が受講した。登録者は57名。</li> <li>②地域日本語教室方向性を明確にした。また、教室フォーマットスタイルを軌道に乗せた。</li> <li>③町から教室運営の委託金70万円を交付し、教室開催を行った。</li> <li>④中能登町国際交流の会 多文化共生部会『中能登にほんごひろば「茶の間」～しゃべらんかいね～』として運営され、持続可能な安定した組織になった。また外国人支援者設置規則を制定した。</li> <li>中能登町国際交流の会 多文化共生部会 サポーター及びボランティア 20名(うち外国人住民4名 イラン・中国・ベトナム)</li> <li>⑤受講者パスポートを発行し、受講しやすい形にした。</li> <li>⑥日本語教室ボランティア養成講座の開催により、サポーターやボランティア希望の町民が増加した。</li> <li>⑦外国人住民向けの貸出し図書の実施及び貸出ルールを制定した。</li> <li>⑧本格稼働に向けて令和2年の計画及び教室フォーマットを定めた。</li> <li>⑨技能実習生雇用の企業とのヒアリングから企業との連携を模索した。</li> </ul>
地域の関係者との連携による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語教室案内のポスター掲示やチラシ設置に協力いただいた。</li> <li>・技能実習生がいる企業に、防災訓練への参加やヒアリング調査への協力を得られた。</li> </ul>
コーディネーターの主な活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ニーズの調査(3H)</li> <li>②体制整備のための調整(103H)</li> <li>③人材育成のための調整(32H)</li> <li>④日本語教室開設及び運営のための調整(62H)</li> <li>⑤教材作成に向けた調整(5H)</li> <li>⑥その他(2H)</li> </ul> <p>(具体的な内容:プレ教室参加対象外国人への案内)</p>
アドバイザーの主な助言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人住民の為だけではなく、地域の活性化の為。</li> <li>・「つながり」ができてきた。もう一歩先へ！つながりのメリットが双方に見えるようにしていく。</li> <li>・外国人住民を社会の活力として見ていく。</li> <li>・町としての支援を続けていってほしい。</li> <li>・日本語教室だけでは接点が少なく、入りやすくなるよう垣根を下げていくと良い。</li> <li>・日本語教室や外国人支援が充実し、住みやすい、外国人に選ばれるような町を目指してほしい。</li> <li>・外国人住民が「受け入れられている」と感じられる、居場所と思ってもらえるような日本語教室にしてほしい。</li> <li>・受け入れられ、居場所があると、「地域の一員だ」「一人の人間だ」と思える。</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>①町からの委託金</li> <li>②永住者、日本人配偶者等の受講を増やす。住民登録窓口との連携。</li> <li>③災害時のサポート、ネットワークの体制づくり。</li> <li>④外国人住民の相談窓口の充実及び地域社会プラットフォームの実現。</li> <li>⑤支援者(サポーター)の確保。</li> <li>⑥サポーター研修の充実。</li> <li>⑦企業との連携・協力を深める。</li> <li>⑧多文化共生の町づくりの実現。</li> <li>⑨事務局機能のマンパワーの確保。</li> </ul> <p>→教室運営及び啓蒙・啓発、受講者の登録及び受講受付、サポーターの登録及び連絡調整、企業との連携、関係機関及び外郭団体との連絡調整、関係資料及び資材等の準備など、サポーターによるボランティアでは賄えない業務が多い。年間を通した事務局スタッフの配置が必要である。</p>
今後の予定	<p>「なかのとまち多文化共生推進プラン」の実現のため、地域日本語教室を開設する。 また、地域社会のプラットフォームとして機能する役割を担う。</p> <p>1.基本の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①日本語使用に困難を感じる外国人住民が、地域社会に参加するきっかけ作り。</li> <li>②地域情報(暮らしに欠かせない情報)を伝える。</li> <li>③対話を通して参加者同士が対等な関係を築く。</li> <li>④災害やいざという時に助け合える人間関係を築く。</li> <li>⑤日本語教室を学び合う場にする。</li> </ul> <p>2.教室及びコアミーティング計画</p> <p>日本語教室は月に2回、2クラスを開催する。 開催日は毎月第1・第3日曜日の午前中を予定している。(にほんごクラスと多文化クラス)</p> <p>にほんごクラス:交流型の日本語教室で生活に沿った身近なテーマをトピックとして扱う。 多文化クラス:相互文化理解や体験等主に行う。また、自由に気軽に話ができるよう交流タイムを充実させる。</p> <p>コアミーティング:毎月第4木曜日に開催し、2か月先の教室プログラムを企画する。</p> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座の開催、研修や視察等を行い、会員のスキルアップを行う。</li> <li>・教室案内、広報活動及び会員の募集を行う。</li> <li>・他課や他団体との連携、及び企業との連携を進める。</li> </ul>

本件担当 : 中能登町教育委員会 生涯学習課 国際交流・日本語教育担当